

# 進行性精巣腫瘍における新規バイオマーカーの検索

## ① アピールポイント



講師 (学内)  
上田 崇

当研究室の進行性精巣腫瘍に対する豊富な治療経験と超高感度なデジタルPCRを用いて、難治性精巣腫瘍の新規バイオマーカーの同定を目標とします

## ② 研究の出口のイメージ

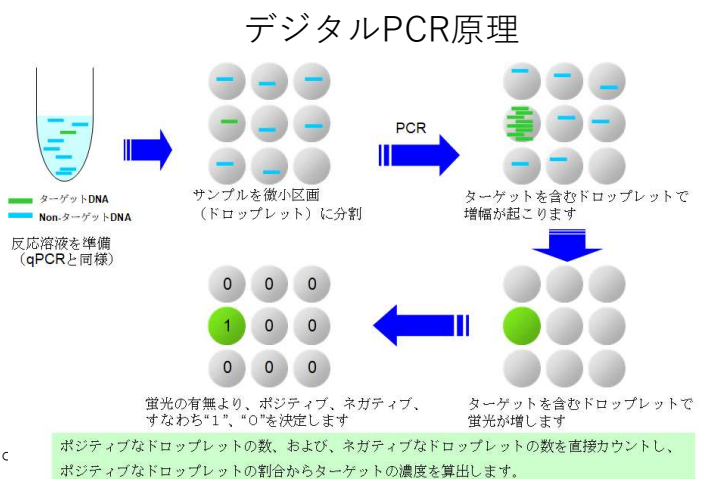
進行性精巣腫瘍における高感度なマーカーを同定し、患者の化学療法などの治療成績の向上および後腹膜リンパ節郭清などの高侵襲な手術の回避を目指します

## キーワード

進行性精巣腫瘍 後腹膜リンパ節郭清 化学療法

## 研究内容

進行性精巣腫瘍に対する治療は化学療法と残存腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清という2つの核が存在します。両者とも患者に対する負担が大きく治療効果を評価する高感度なマーカーの同定は治療成績の向上および高侵襲な手術の回避につながると考えられます。近年、診断マーカーの有望なツールとなりうる解析手法としていわゆるリキッドバイオプシーが注目されています。本研究ではデジタルPCRという機器を用いて、個々の患者において高位精巣摘除、化学療法および後腹膜リンパ節郭清の集学的治療によってctDNAやmiRNAの発現がこういった変化を示すのかを観察します。本研究では遺伝子の解析方法として従来のリアルタイムPCRと比較して超高感度で絶対的定量解析を可能とするデジタルPCRを用いるためこれまで検出されなかった変異が検出される可能性があると考えられます。



BIO-RAD資料より